

平成 28 年 1 月 吉日
特定非営利活動法人 シンビオ社会研究会

平成 27 年度 シンビオ社会研究会 関西講演会のご案内

拝啓

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて弊会では今後のわが国の電力自由化制度の進展や、進展する ICT 技術を活用したスマートな電力・エネルギーシステム技術の将来を展望する機会として下記のとおり講演会を開催します。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきませう、ご案内申し上げます。

敬具

【講演会】

1. 日時：平成 28 年 2 月 27 日（土） 15:00～17:30
2. 場所：芝蘭会館別館 2 階 第 2 研修室（添付地図）
3. 講演会（15:00-17:30）

講演 1（15:00-16:10）

標題：「電力システム改革と再生可能エネルギー大量導入に対する電力システムのスマート化」

講師：東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授 横山明彦先生

講演 2（16:20-17:30）

標題：『エネルギーの情報化』によるスマートコミュニティの実現」

講師：京都大学大学院情報学研究科知能情報学専攻教授 松山隆司先生

4. 懇親会（17:45-19:30）

場所：芝蘭会館別館 2 階 第 1 研修室

5. 参加申し込み

ご参加希望の方は「講演会・懇親会ともに参加」か「講演会のみ参加」かを明記のうえ

- ・ ご氏名、
- ・ ご所属、
- ・ E メールアドレスを

平成 28 年 2 月 13 日（土）までにシンビオ社会研究会（symbio-office@nike.eonet.ne.jp）あて E メールにてお申込み下さい。定員 60 名になり次第締め切りますので、残念ながらご参加いただけない場合は、その旨ご連絡いたします。

講演会は参加無料。懇親会会費は 2,000 円です。

6. 本件についてのお問い合わせ先

シンビオ社会研究会事務局 内田和枝（ウチダカズエ）

E-Mail: symbio-office@nike.eonet.ne.jp

TEL 075-204-1559 FAX 075-204-1559

講演1 「電力システム改革と再生可能エネルギー大量導入に対する電力システムのスマート化」

講師 横山 明彦（よこやまあきひこ）先生
（東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授）



【講師略歴】

1956年10月9日生。

1979年3月 東京大学工学部電気工学科卒業。

1981年3月 同大学大学院工学系研究科電気工学専門課程修士課程修了。

1984年3月 同大学大学院工学系研究科電気工学専門課程博士課程修了。工学博士。

同年4月 同大学工学部電気工学科助手。1985年同講師。1989年同助教授。

2001年9月 同大学大学院工学系研究科教授。

2008年4月 同大学大学院新領域創成科学研究科教授。現在に至る。

電気学会フェロー。CIGRE JNC委員長、IEC TC8 JNC委員長、経産省 電力安全小委員会委員長、電力基本政策小委員会委員。

【講演概要】

電力システム改革の第1弾として、昨年4月から電力広域的運営推進機関が設立され、第2弾として、本年4月から小売りの全面自由化が始まる。電力自由化が進展すると、電力供給や需要の不確実性が高まり、将来電力の需給バランスをとることが難しくなる。加えて、P Vや風力発電等の再生可能エネルギーが大量に導入されると、ますます難しくなる。この電力自由化、再生可能エネルギー大量導入の下で、電力システムの運用が複雑になってくると、その複雑なシステムを上手にコントロールし、安定性を確保し、社会コストをできるだけ増やさずにP Vや風力発電を大量に連系できるようにするのが電力システムのスマート化である。広域運用、再生可能電源の出力制御、系統用蓄電池制御、スマートメータによるデマンドレスポンス、ヒートポンプ給湯機やE V、家庭用蓄電池などの需要家側機器の制御などの実証プロジェクトを例にとりながら最近の動向を紹介する。

講演2 「『エネルギーの情報化』によるスマートコミュニティの実現」

講師 松山 隆司（まつやま たかし）先生
（京都大学大学院情報学研究科知能情報学専攻教授）



【講師略歴】

1976年京大大学院修士課程修了。京大助手、東北大助教授、岡山大教授を経て

1995年より京大大学院電子通信工学専攻教授。

現在同大学院情報学研究科知能情報学専攻教授。

2002年学術情報メディアセンター長、京都大学評議員、

2005年情報環境機構長。

2008年副理事。工博。

画像理解、分散協調視覚、3次元ビデオの研究に従事。最近は「人間と共生する情報システム」、「エネルギーの情報化」の研究を推進している。

1980年情報処理学会創立20周年記念論文賞、1990年人工知能学会論文賞、1993年情報処理学会論文賞、1994年電子情報通信学会論文賞、1995年第5回国際コンピュータビジョン会議 Marr Prize、1999年電子情報通信学会論文賞、2000年画像センシングシンポジウム優秀論文賞。2004年、2005年FIT優秀論文賞、2009年ヒューマンインタフェース学会論文賞、文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）。

国際パターン認識連合、情報処理学会、電子情報通信学会フェロー。日本学術会議連携会員

【講演概要】

主に電力事業者の視点から電力の需給バランス制御を目指す「スマートグリッド」に対して、「エネルギーの情報化」では、太陽電池や蓄電池などの分散電源を備えた需要家（家庭、オフィス、工場）である「プロシューマ」における知的エネルギーマネジメントシステムの実現を目的としている。本講演では、「エネルギーの情報化」に関する最新の研究成果として、①家電ごとの消費電力の見える化と人間の生活行動モニタリング②利用者が指定した省エネ率を確実に実現するオンデマンド型電力自動制御システムを紹介した後、中小工場向けに開発した実用システムの実績データを示し、③電力使用パターンに基づいた蓄電池の最適設計（オーダーメイド蓄電池）とリアルタイム充放電制御④複数電源から供給される電力を由来別に制御する電力カラーリング、⑤複数需要家の連携による「スマートコミュニティ」の実現に向けた今後のビジョンを述べる。

芝蘭会館(別館)地図

住所: 〒606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町 11-1

電話: 075-752-4013

近隣地図



【交通】

京阪「出町柳駅」から徒歩15分

JR・近鉄「京都駅」市バスD2乗り場から206系統乗車約35分、「京大正門前」下車

阪急「河原町駅」、京阪「祇園四条駅」から市バス201系統(百万遍行き)乗車約25分、

「京大正門前」下車

バス停「京大正門前」から徒歩2分